

## 第3期千歳市商業振興プラン 第3回策定懇話会議事概要

開催日時：令和2年11月10日（水）10：00～12：15

開催場所：千歳市水道局 2階会議室

出席者

【審議会委員】11名【事務局】9名

### 議事次第

#### 1 開 会

#### 2 議題

- (1) 商業振興に関する市民アンケート 結果報告について
- (2) 第2期千歳市商業振興プラン取り組み状況と次期プランへの反映について
- (3) 第3期千歳市商業振興プランの基本方針（案）及び施策等（案）について
  - ①第3期千歳市商業振興プラン全体構成（案）
  - ②商業振興に向けた課題と対策
  - ③目指す姿
  - ④第3期千歳市商業振興プランの基本方針（案）及び施策等（案）
  - ⑤第7期総合計画と次期プランとの関係性
- (4) その他

#### 3 閉 会

## 議事概要

### 1 開 会

### 2 議題

#### (1) 商業振興に関する市民アンケート 結果報告について

- ・資料に基づき説明。
- ・千歳市在住の1,000名を無作為に選出し、アンケートを実施した。回答率は48%である。10代の回答率は低いものの、20代～80代の各世代から幅広くご回答いただいた。
- ・生鮮食料品をはじめ、多くの商品で市内での購入が最多だが、衣料品や贈答品については、ほかの購入先も増加傾向にある。
- ・中心市街地の利用頻度は低い傾向にあり、中心市街地活性化・商業活性化には「駐車場」の充実や情報提供が必要である。
- ・中心市街地に新たな発見やワクワク感が必要であり、にぎわいづくりにはイベントの開催、カフェなどの空間が必要である。
- ・世代によって情報発信するツールを使い分ける必要がある。
- ・買い物弱者問題の対策として、宅配やインターネット販売を推進することが必要である。

#### (会長)

- ・アンケート結果を見ると、駐車場の充実が必要になるかと思うが、実際に増やすことは可能か。

#### (事務局)

- ・商店街や中心市街地ではここ数年駐車場の数が増えてきている。
- ・今後も駐車場を増やし続けると、景観や機能面から賑わいの消失など別の問題が出て来ることが懸念される。このため、駐車場の数を増やすのではなく、駐車場の位置など情報発信を強化する方向で検討している。

#### (委員)

- ・アンケート結果では自動車所有率が7割程となっており、マイカーを持つことを前提とした施策を進めることが考えられるが、自動車を所有していなくても歩いて楽しめるコンパクトなまちづくりを促進していく必要があると思う。

#### (委員)

- ・千歳市内を運行しているバスは、目的地に対して遠回りのルート設定になっているなど、歩いた方が早い場合もあるので、利便性に乏しく、使いづらい印象がある。

#### (委員)

- ・千歳タウンプラザ1階のまちライブラリーは2021年3月に閉店する。アンケート結果を見ると、カフェや書店など憩いの場が必要という意見が多いが、市役所の方で何か対策は

できないか。

- ・また、市民がグリーンベルトを活用できるような施策が必要だと思う。

(事務局)

- ・バス路線の再編については以前から進めているが、バス会社の意向などもあり難航している。
- ・千歳タウンプラザについては、まちライブラリーは閉鎖してしまうということであるが、現在、施設所有者に対して状況の確認を進めているところである。2階のピピちとせは引き続き営業するものと聞いている。

(会長)

- ・市内で書店の閉店が続いているが、さらにまちライブラリーのような施設も市内からなくなってしまうとなると、懸念すべきことだと思う。

## (2) 第2期千歳市商業振興プラン取り組み状況と次期プランへの反映について

- ・資料に基づき説明。
- ・基本目標1「個店の魅力向上」において、今後も個店の魅力発信が必要と考えていることから、動画やSNSなどで情報発信していく予定である。また、子育て世代や外国人観光客に合わせた店舗レイアウトの工夫など来店しやすい店づくりを引き続き検討する。
- ・付加価値の高い商品やサービス等の提供への取組や売上増加、事業拡大に向けた資質の向上への取組など次期プランでも継続して行う。
- ・基本目標2「商業者の連携づくり」において、今後も賑わいづくりや効果的な情報発信が必要であるため、イベントの開催やターゲットに合わせた多様なツールを用いた情報発信を次期プランでも継続して行う。
- ・基本目標3「地域特性を生かした商店街づくり」において、現在は新型コロナウイルスの影響で外国人観光客の入込は見込めないものの、アフターコロナを見据えた対策として外国人観光客をターゲットとした環境整備や情報発信を検討していく。
- ・地域の特色を生かした効果的な取組としてイベントの開催や付加価値の高い特産品の販売など次期プランでも継続して行う。
- ・基本目標4「中心市街地としての賑わい形成」において、今後も中心市街地や商店街の活性化を進めていく必要があるため、ハード面の整備や空き店舗等の解消などを次期プランでも継続して行う。

(委員)

- ・商店街の個店や空き店舗などを、全体的に把握・管理している組織はあるのか。

(事務局)

- ・商店街は、千歳市商店街振興組合連合会が個店の情報などをある程度把握している。
- ・しかし、空き店舗の情報は、それぞれのオーナーの都合もあり、集約された情報を確認できるコンテンツは現時点ではない。次年度以降、取組を進めていくよう検討している。

(委員)

- ・具体的にどのように空き店舗の情報を集約して発信していくのか。

(事務局)

- ・不動産会社など民間事業者と連携しながら、空き店舗の情報を把握し、公開していくことを検討している。

(委員)

- ・アンケートは市民を対象として実施しているが、商業振興プランの方針や施策を決めるに当たって、もう一方の主役である個店に聞き取りなど行う予定はあるのか。

(事務局)

- ・全ての個店にアンケートを実施することは難しいが、商業振興プランへの反映については、個店のニーズ等にも沿った内容も盛り込んでいきたい。

(委員)

- ・個店が実際に商品開発など実施することは難しい面もあるため、積極的に取組を進めた場合に、市から評価されるような仕組みづくりはできないか。
- ・優れた技能によって製作された高付加価値の製品に対し、「グッドスキルマーク」の表示を認める取組があるので、そういった制度を参考にしてはどうか。

(事務局)

- ・市から評価する仕組みづくりについて、次期プランに反映することを検討したい。

(委員)

- ・商店街の中には意欲的に取り組んでいるお店もあると思うが、まちゼミの開催や各個店が取り組んでいることなど、あまり知られていないと感じていて、私も自分で調べるまで知らなかった。
- ・千歳市は高校や大学があり学生が多いが、まちゼミに参加している学生は少ないように感じる。まちゼミはどの層をターゲットに開催しているのか。

(事務局)

- ・まちゼミの参加は50～60代が多い。折り込みチラシで周知しているため、高齢層の参加者が多いと思う。
- ・今後はSNSなど情報発信の仕方を考えて、若い世代が参加できるような方法も検討していきたい。

(委員)

- ・若年層への効果的な情報発信としてSNSを利用することはいいと思うが、SNSのアカウントが認知されなければ情報は届かないのが難しいところである。

- ・そのほか、駅や商業施設のポスターなど普段よく目にする場所や、学校の掲示板などで周知するのも効果的だと思う。

(委員)

- ・子ども向けのイベントを開催した時には、学校を通じて告知チラシを1万人に手渡ししたが、3000人が来場してくれた。学校などに協力してもらい、ターゲットを明確に決めて個別に配布することで認知してもらうことも有効である。
- ・商店街で昼間営業している個店はどの店舗あるか。
- ・原宿の竹下通りのようにひとつのまとまったエリアで昼間営業していて滞留と回遊ができる商店街が必要だと思う。点在しているのではなく、一か所に集約されてまとまっていると利用者も使いやすい。
- ・エリアでターゲットを分けて、回遊できるといいのではないか。

(事務局)

- ・タウンプラザ周辺の商店街で昼間営業している飲食店については、約10店舗程度は把握している。市も商工会議所と連携し、商店街等の空き店舗を活用して昼間営業する個店を開業する場合に改修費や家賃等の補助を行うなどの取組を行っている。

(会長)

- ・話は変わるが、改めてまちライブラリーが閉鎖される影響は大きいと考える。

(委員)

- ・まちライブラリーが閉店することを残念に思われている方が多い。

(事務局)

- ・まちライブラリーは、商業の振興だけでなく市民の交流の場、憩いの場として役割を担っていたと認識している。

(委員)

- ・まちライブラリーが閉鎖すると、学生の行き場がなくなってしまう。勉強する場や学生たちが過ごせる場をつくってほしい。

(委員)

- ・一方で、現在の商業振興プランによって、Wi-Fi環境やデジタルサイネージが整備されたことは大きな成果だと思う。これを生かしていくことや、情報発信などの取組が進められていくことが必要である。
- ・現在は、新型コロナウイルスの影響で外国人観光客の入込は見込めないが、アフターコロナを見据え、電子マネーの推進やQRコード決済の対策なども必要となってくる。
- ・商店街の全体的な底上げが必要である。ただし、市や商工会議所が直接進めていくと抵抗される方も多いので、ITに詳しい方などに教えてもらえる仕組みづくり必要がある。

(3) 第3期千歳市商業振興プランの基本方針(案)及び施策等(案)について

①第3期千歳市商業振興プラン全体構成(案)

- ・資料に基づき説明。
- ・第5章と第6章についてご意見を伺いたい旨を説明。

②商業振興に向けた課題と対策

- ・資料に基づき説明。
- ・課題に対する対策(施策)から導き出されるプランの方針の柱を次の3つとしたい。
  - 「チャレンジする商業の促進」
  - 「商業の魅力向上の促進」
  - 「歩いて楽しい人が集まるまちづくりの促進」

③目指す姿

- ・資料に基づき説明。
- ・基本方針のキャッチフレーズの候補として次の2案を提案したい。
  - 案1:「変化の中から創出する新たな商業」
  - 案2:「にぎわいと笑顔ある暮らしを生む新たな商業」

④第3期千歳市商業振興プランの基本方針(案)及び施策等(案)

- ・資料に基づき説明。
- ・次期プランの基本方針(案)及び施策等(案)は、ヒアリングやアンケート結果、策定懇話会から出された意見、現行プランから反映した事項を列記している。
- ・他にも追加した方がいい施策や削除した方がいい施策があればご意見を頂きたい旨を説明。

(委員)

- ・方針の展開「3-4のエリアマネジメントの推進を検討する場の構築」は、具体的な取組事例がすべて「検討」になっているが、実施まで進めることは難しいのか。

(事務局)

- ・エリアマネジメントの推進は、ハード面も含めての検討になるため、長期的な施策になる可能性がある。
- ・全て検討ではなく、実施できるものがあれば進めていく予定である。
- ・エリアマネジメントは現行プランになく、次期プランの新しい取組であるため、エリアマネジメント組織を構築するきっかけづくりにしたいと考えている。

(委員)

- ・中心市街地の回遊性があるイベントとして、スマートフォンをかざすとARで表示されるようなスタンプラリーを行えたらいいと思う。
- ・千歳市内は小規模なお祭りがいくつもあるので、同日開催にし、スタンプラリーで各会場

を回れるようにできないか。

- ・新型コロナウイルスの影響で屋内のイベントなどは中止となってしまったため、屋外でできることとして、中心市街地の街灯に子どもたちの絵を飾ってみてはどうか。
- ・新型コロナウイルスの影響で職を失った調理師が多くいると聞いているので、グリーンベルトにコンテナなどを設置し、屋台村を設置してみたらいいと思う。

(事務局)

- ・皆様のアイデアは、検討した上で、次期プランの具体的取組事例の中で反映できるものは盛り込んでいきたいと思う。

#### ⑤第7期総合計画と次期プランとの関係性

- ・資料に基づき説明。

#### (4) その他

(事務局)

- ・懇話会の中では時間が限られているため、事前にメールや電話などでご意見や質問など連絡していただきたい。
- ・第4回策定懇話会の日時は、12月20日前後を予定している。詳細日時は別途ご連絡する。
- ・新型コロナウイルス感染状況次第で、スケジュールが変更となる可能性がある。

### 3 閉会